
テニス部マネージャー

楓 紅

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

テニス部マネージャー

【Nコード】

N1199G

【作者名】

楓 紅

【あらすじ】

眠り姫の続編です！飛鳥は、乾の話に乗ってしまった。こうして、蜘蛛の糸は更に強く結ばれた。一体、飛鳥の行方はどうなっていく？

あれから、少し仮眠を取った後、大石先輩に声を掛け、自宅に帰った。

翌日から訪れるだろう、地獄の日々を思いながら、家路に帰った飛鳥。

寝付けずに、夜が明けていつてしまった。

飛鳥は、弁当を作って、学校に早めに向かって行った。

誰にも会いたくない・・・彼の背中はその語っていたのだから。

そして、学校に辿り着いた飛鳥は、桜の木の下にやって来ていた。

子猫「ニャー。」

「やあ。子猫ちゃん。昨日ぶりだね？」

子猫「ニー？」

「・・・クスッ 落ち込んでるのばれた？・・・俺、どうすれば良
いか分からないよ。」

子猫の頭を撫でながら、飛鳥は低い声で呟く。

周助「何が、どうすれば良いか分からないの？」

「?!不二・・・先輩？」

子猫の頭を撫でていた飛鳥の背後に、不二先輩が立っていた。

周助「おはよう。随分と早い登校だね。・・・どうかした？」

「いいえ。・・・俺、テニス部のマネージャーになるつもりなんです。」

周助「?テニス部のマネージャー?何で、突然？」

「俺の気まぐれです。」

周助「・・・違うね。気まぐれで、そんな顔は出来ないはずだよ？泣きそうな顔をね。」

「俺、泣きそうですか？」

周助「うん。目元も少し腫れてるしね。・・・泣いた？」

「っ!いいえ。男がそうやすやすと泣きませんよ。」

周助「・・・何かあったら言ってね?僕で良かったら相談にのるよ?」

「あ・・・ありがとう・・・」。

貞治「不二。」

「っ!」

周助「乾。早いね。」

不二先輩の後ろには、乾先輩が立っていた。

貞治「部活。始まるぞ。望月君？もマネージャー希望ならこっちに来て。」

「・・・はい。」

震えそうになる声を必死に抑えて、返事を返す飛鳥。

周助「・・・ねえ。乾。僕、彼に話したい事があるんだ。先に行つててくれない？」

貞治「・・・。」

「・・・。」

貞治「分かった。それじゃ、不二が、その子を連れてきてくれる？」

周助「分かったよ。」

そこまで言うと、乾先輩は、立ち去って行った。

周助「・・・彼が何かした？」

「え？」

周助「価値観が同じなんでしょ？僕が思うに、君は、彼に怯えている。」

彼が何かした？」

「っ！..」

周助「そう。首筋のそれも彼？」

「え？」

慌てて首筋を見やると、昨日のままのキスマークが残っていた。

「！これは...違います。」

首筋を手で覆い、それ以上は言えないという顔で言う飛鳥。

周助「...気を付けて。僕は、君の味方だから。行こう。」

そこまで優しく言うと、それ以上は問わず、歩き出した。

「ありがとうございます。」

不二先輩の後ろを付いて歩く飛鳥には、不二が笑って居る姿は見えなかった。

そして、飛鳥は、テニスコートに足を踏み入れた。

蜘蛛の巣のように、もう抜ける事の出来ない巣へ.....

周助「手塚！」

国光「？不二。急に居なくなるとは.....？」

周助「マネージャー、志望なんだって。1年2組の望月飛鳥君。」

「昨日振りです。手塚・・・部長さん。」

変な呼び方をしてしまいがらも、目の前の相手に挨拶する飛鳥。

周助「あれ？知り合いなの？」

「ええ。昨日、越前を・・・呼んでもらったんです。」

越前と名前を呼んだ瞬間、飛鳥は無意識にキスマークを隠した。

周助「・・・。」

国光「それで？何で、マネージャーに？」

この後、軽い質問を答えた後、飛鳥は、テニス部のマネージャーと
なった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1199g/>

テニス部マネージャー

2010年10月9日16時30分発行